



### 宮司の柴田です。

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十三年 十月 十四日

◇宮司の柴田です。

「わがくには 神のすゑなり 神まつる

昔のてぶり わするなよゆめ」

これは、明治天皇様が、明治四十三年にお詠(よ)みになられた御製(ぎよせい)です。

十月は、神無月(かみなづき)と言われますが、「無(な)」は、現代語の「の」という古語(こご)でありますから、まさに、「神の月」「神まつる月」だと私は考えています。

今月は、宮司を兼ねている六連島八幡宮を皮切りに、田の首八幡宮、さらには、本務である当宮の例祭と続きます。 およそ神社の祭りは、「大祭式(たいさいしき)」「中祭式(ちゆうさいしき)」「小祭式(しょうさいしき)」に分けられ、これに属(ぞく)さない祭りを「雑祭式(ざつさいしき)」としています。

それぞれ、祭典の式次第である祭式次第(さいしきしだい)や執行するうえでの注意事項の祭儀註(さいぎちゆう)が定められ、さらには、身に着ける衣装(いしやう)、装束(しようぞく)まで決められています。 顔写真を変更しましたが、お気づきになられました

でしょうか。 実は、「大祭式」で着装しな

ければならない「正服(せいふく)」を身に着けた、過日の六連島八幡宮例大祭の時の写真です。 この一年に一度の例大祭(れいたいさい)は、全国の神社の大半を組織する神

社神道の宗教団体である神社本庁より奉(たてまつ)られる「幣帛料(へいはくりよう)」を御神前にお供えをする、「献幣ノ儀(けんぺいのぎ)」をはじめ、「大祭式」に則(のっ

と)齋行(さいこう)する重要な厳肅なるお祭りです。 明後日の例大祭は、冒頭の御製(ごせい)にありますように、御創祀(ごそうし)八百五十二年の「手振り」を、遺漏(いろう)なく御奉仕(ごほうし)申し上げなければと思います。

◇東日本大震災から七か月を経(へ)りましたが、この大震災はむろんの事、七月の新潟と福島の大豪雨、九月の台風も凄(き)まじいものでした。

自然災害の脅威(きょうい)にさらされ、翻弄(ほんろう)されて、心身ともに打ちのめされている人も少なくないでしょうね。 一方で災禍(さいか)をもたらし、なお、季節の移ろいに姿をかえる、その自然

の美しさは、何らかわりがありませんよね。がれきに囲まれた水田に、黄金色の頭を垂らしている稲穂のようにですね。 物理学者の寺田寅彦(てらたひこ)さんは、日本の国を、「厳父(げんぷ)の厳(げん)と慈母(じぼ)の慈(じ)との配合よろしきを得た国柄」とおっしゃいました。 まさしく、災害の「厳」と、季節の移ろいの「慈」を併せ持った国柄であるという事を改めて思い知らされますよね。

さらに述べれば、自然と人間の関係は、けつして対等ではなく、人間が一方的に自然に包みこまれていくという関係ではないでしょうか。 そうであればこそ、大自然への畏敬(いけい)を忘れてはなりませんし、恵みに感謝を捧げなくてはならないと思います。 大自然に折り合いつつ、大自然に添って生きていかななくてはならないのです。 そして、それこそが、人間も、大自然の一員であることの証(あかし)なのではないでしょうか。 実は、その事を確認する重儀(じゆうぎ)が、一年に一度齋行する例大祭だと思っております。

◇明後日の例大祭は、午前十時半から一時間半もの長時間にわたるお祭りです。 祭りとは、いうまでもなく「神」をマツルことでありますが、普段見えない「神」が出現される事を「待つ(マツ)」意味と、出現された「神」に奉仕する(マツラウ)意味を含んでいます。

「待つ」ということは、神様の御加護（ごかご）を心から感謝し誠の心を捧げることですね。「奉仕する（マツラウ）」意味は、これまでの自分をかえりみ、我々の力ではどうしても解決できないことをお祈りするのです。そして、明日からの生活により潤（うるお）いと張りをもつて前向きに、眼前（がんぜん）に立ちあらわれくる出来事に、その道のりは、たとえ険しくとも、神様から守られている事を信じ、積極果敢に取り組む事を誓うのです。未来が、神様と人が、真に釣合っている状態、「真釣（まつり）」を祈る、これが、三つめの「祭り」の意味です。

◇今、日本は、諸事（しよじ）が、「非常事態」あるいは、「正念場」を迎えているといわれています。明治の近代化が、伝統への回帰（かいき）から始まったように、この「正念場」からの脱却（だつきやく）は、じつくりと大切に神社神道に伝え根づいた、先祖の生活の知恵である「祭り」の三つの意味に学ぶべき必要があるように思います。冒頭の御製にも、「神のすゑ」とあります、われわれは、神の子孫なのですから。明後日の例大祭が、「後（あと）の祭り」にならないよう、しっかりとおつとめします。皆様方の生活が、幸せに満ちあふれた、「真釣り」でありますように、心からお祈り申し上げます。

◇九月の祭典行事報告

- ▼月次祭 \*九月一日、十五日
- ▼若宮祭 \*九月十日〜十一日
- ▼福浦金刀比羅宮月次祭 \*九月十日
- ※左の上の写真
- ▼福岡県神社庁八幡支部参拝\*九月十二日
- ※左の下の写真



- ▼朝粥会 \*九月二十一日
- ※下関市倫理法人会もモーニングセミナーとして参加されました
- ▼秋季祖霊祭 \*九月二十三日
- ※家の宗旨が神道の家の合同の祖霊祭
- ▼貴布禰神社例祭
- \*九月二十二日〜二十三日
- ◇十月の祭典行事予定（報告も含む）
- ▼六連島八幡宮例祭 \*十月四日〜五日
- ▼田の首八幡宮例祭 \*十月八日〜九日
- ▼月次祭、明神社例祭
- \*十月十五日
- ▼本宮例大祭 \*十月十五日〜十六日
- ▼神宮神嘗祭当日祭 \*十月十七日

▼舞子島八幡宮例祭

- ▼朝粥会 \*十月二十一日
- ▼観月祭 \*十月三十日
- ◇十月の宮司の行事会議等
- ▼当宮関係団体
- ◇敬神婦人会清掃奉仕作業 \*十月九日
- ◇敬神婦人会役員会 \*十月十四日
- ◇無形民俗文化財「サイ上り神事」練習 \*十月十日
- ◇秋祭説明会 \*十月十一日

- ▼山口県神社庁並びに下関支部関係
- ◇役員会 \*十月十九日
- ◇支部長事務局長会議 \*十月二十日
- ▼西ロータリークラブ
- ◇例会 \*十月十九日、二十六日
- ◇メーキヤップ \*十月七日、十四日、十七日

- ▼講演活動
- ◇宮司講和会 \*十月一日
- ※次回は、十一月一日!
- ◇山銀彦島はつてんくらぶ \*十月十二日
- ▼その他
- ◇人権擁護委員研修 \*十月六日
- ◇日本会議下関理事會 \*十月十八日
- ◇経友会西山支部例会 \*十月二十二日